

部会での検討について

新たな「首都直下地震等による東京の被害想定」や「保健医療計画の改定に向けた国の論点」等を踏まえて災害医療体制について検討

【主な検討要素】

▶災害拠点病院の必要数

(東京の被害想定の新要素)

- ・ 想定する地震動が変更となり単純比較は困難であるものの、想定される死傷者数、建物被害等が減少
- ・ 定性的な被害シナリオにおいて、発災直後における「医師・看護師等の医療従事者が被災した場合、負傷者の受入が困難となる可能性」が指摘。また、1日後以降においては「被害が大きな地域にある災害拠点病院や緊急医療救護所等では、収容力の超過や医療人材の不足などの混乱」の発生が指摘
 - ⇒ 新たに医療従事者の被災の可能性を考慮しつつも、負傷者の受入や現場での医療処置が可能となるよう、災害拠点病院の患者収容可能人数の再設定が必要

▶保健医療計画改定に向けた論点（特に医療機関の浸水対策支援）

(国検討会等の議論)

- ・ 国は論点として、①多職種連携、②災害時に拠点となる病院、拠点となる病院以外の病院、③止水対策を含む浸水対策、④医療コンテナの災害時における活用の4つを提示
- ・ 浸水想定区域等に所在する災害拠点病院は、止水板等の設置や、自家発電機等の電気設備の高所移設、排水ポンプの設置等による浸水対策を講じること、また、浸水想定区域等に所在するその他の医療機関は、浸水対策を講じるように努めることとされている。
 - ⇒ 浸水想定区域に所在する災害拠点病院や災害拠点連携病院の浸水対策促進策の検討や災害医療支援病院の浸水対策の必要性について議論が必要

検討スケジュール

令和4年度		令和5年度		
1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
● 災害医療協議会	● 6/7 第1回災害医療体制検討部会 ● 6/21 災害医療協議会	● 第2回災害医療体制検討部会 ● 災害医療協議会	★都の予算事業への反映	
	★保健医療計画改定の議論への反映	保健医療計画改定スケジュール		
		8月～12月 改定部会での検討	～1月 パブリックコメント等	3月 医療審議会 ⇒ 計画改定